

大船中央病院 市民公開講座

# 「健康で美しい皮膚を保つために」

6月27日午後2時から 要予約

## 最新の研究成果紹介

「適度な運動をして汗を流すことは心身の健康のために良いことはもちろんですが、実は美しい皮膚を保つためにも大切だということが分かってきました」と話す宮田医師。

その理由は汗のなかに含まれる「抗菌タンパク」。汗にはこれまで、水分や油などの老廃物しかないと思われていたが、成分解析などの研究が進んだ結果、「ダームシディン」(DCD)と呼ばれる、抗菌物質が含まれていることが分かったという。

人の皮膚には、様々な菌(常在菌)が存在し、皮膚の状態や体調を反映してその数が増減するため、疾患によってはそのバランスが崩れた状態になっていることが多い。

ダームシディンは、病原性のある細菌を減らしたり、常在菌が増えすぎないようにバランスをとることで、皮膚のバリアー機能に関与し、健康な皮膚を保つ働きをしているのだという。

現在、活用のための研究も進んでいて「将来的には化粧品などでダームシディンを補える日が来るかもしれません」と宮田医師は話す。実現すれば、ニキビやアトピー性皮膚炎などの治

療にも効果が期待できるという。

「皮膚は内臓を包む大きな臓器。内臓を映す鏡とも言われます。当日は皮膚にある菌が持つバリアー機能についてお話をさせていただきます、それを損なわずに健康で美しい皮膚を生産保つために何ができるのか、日常生活でできること、気を付けるべきことについてもお伝えします」と宮田医師。

参加は要予約。問い合わせ、申し込みは左記へ。



社会医療法人財団 大船中央病院  
互恵会

要予約 ☎0467(45)2111(代)

平日 午前8時半～午後5時(土曜は正午まで)定員になり次第 締切  
メールでの申込は受講日・参加者氏名・連絡先を明記  
✉shiminkoukai@ofunachuohp.net



皮膚科部長

宮田 聡子 医師